

# 情報システムの標準化にあたっての自治体独自施策についての考え方

(2025年愛知自治体キャラバンまとめ)

- ①情報システムの標準化にあたって自治体独自の施策をこれまで通り実施すると44市町村(81%)が明言。  
 ②その他と回答した10市町村(20%※一宮市は重複)も、そのうち8市町村(13%※同)は独自施策の継続は表明しており、計51市町村(94%)は標準化後も独自施策に影響させないとしている。 ※■は独自施策への影響が懸念される3市町村  
 ③見直し・廃止を検討したと回答しているのは長久手市だけ(2%)であり、国民健康保険税の所得定率減免が対象。  
 ④一宮市は、標準化に関わりなく独自施策の見直し等を検討しているとしている。

市町村名	これまでどおり実施	見直し・廃止を検討	その他	その他の内容/見直し・廃止の理由と具体的な施策・内容
合計	44	1	10	
1 名古屋市	○			
2 豊橋市			○	各施策の必要性やこれまでの効果等を十分に考慮しつつ適切に判断する
3 岡崎市	○			
4 一宮市	○		○	社会情勢の変化等に伴って各種施策について見直し等は検討/多用なニーズがあるため市独自施策についても必要に応じて見直し/見直しの内容は現段階では示せない
5 瀬戸市	○			
6 半田市	○			
7 春日井市			○	システム標準化の対象外事業については必要に応じて独自のシステムを構築する等で対応
8 豊川市	○			
9 津島市	○			
10 碧南市	○			
11 刈谷市	○			
12 豊田市			○	業務所管課の事務手順は変更されるが、施策については影響を受けないものと考えている
13 安城市	○			
14 西尾市	○			
15 蒲郡市			○	市民サービスの低下にならないよう、運用フローなどの見直しを行う
16 犬山市	○			
17 常滑市	○			
18 江南市			○	システムの標準化は自治体独自施策に対して直接的に影響を及ぼすものではない
19 小牧市	○			
20 稲沢市	○			
21 新城市	○			
22 東海市	○			
23 大府市	○			
24 知多市	○			
25 知立市			○	独自施策継続のため、業務フローの見直しや運用の方法を検討する
26 尾張旭市	○			
27 高浜市	○			
28 岩倉市	○			
29 豊明市	○			
30 日進市	○			
31 田原市	○			
32 愛西市	○			
33 清須市	○			
34 北名古屋市			○	課題等を確認しながら調整を進めていく
35 弥富市	○			
36 みよし市	○			
37 あま市	○			
38 長久手市		○		制度設立当初の取組の必要性が変化してきたため/国民健康保険税の所得定率減免
39 東郷町	○			
40 豊山町	○			
41 大口町	○			
42 扶桑町	○			
43 大治町			○	情報システム標準化の取組みが自治体独自の施策を妨げるものではない
44 蟹江町	○			
45 飛島村	○			
46 阿久比町	○			
47 東浦町	○			
48 南知多町	○			
49 美浜町	○			
50 武豊町	○			
51 幸田町	○			
52 設楽町	○			
53 東栄町	○			
54 豊根村			○	独自対策なし